

新成人の主張 新成人代表の3名が意見発表を行いました!

大沼 空知 さん

この度、私は成人を迎えるわけですが、正直なところ全く実感がありません。そうはいっても法律が定める限り、大人としての最低限の責任をもって生きていますが、私はまだ大学生です。広辞苑や漢字辞典には「成人」とは一人前の人間である事を指します。そのため、未だモラトリアムの期間を充実している私はまだ真の意味で「成人」を迎えることができていません。

残りの2年間の大学生活の中で本当の意味で「成人」を迎えられるように今後、より一層努力していきたいと思えます。



田中 菜々羽 さん

新成人の皆さん、私たちは20歳という人生の大きな節目を迎えましたが、皆さんはこれまでの20年間を振り返ってみてどうでしょうか。私はとてもあっという間だった様に感じます。これまでは学校でクラスや出席番号が振り分けられ、自分の存在する場所や意義を常に周りから与えられていました。しかしこれからは、自分が何者であるのかを証明するための称号は自分自身で得る必要があると思えます。その称号に優劣はないですし、人生は一度しかありません。たとえ自分のやりたいことが、一般的な定石に当てはまらないような選択肢でも、周りの目を気にして無難に人生を浪費するより、自分の気持ちを大切に自分の人生を豊かにした方が良いと思えます。

私は人生を振り返った時に、後悔しない選択をしたいです。美浦中学校で共に過ごした私たちは、「当たり前なことを馬鹿にしないでちゃんとやる」ことのできる強い力を持っていると確信しています。これから一人ひとりの努力の形は違えど、辛い時はそれぞれの場所で努力している皆に思いを馳せ、私も頑張っていきたいと思えます。

最後になりますが、今日まで支えてくださった多くの方々や故郷美浦村への感謝の気持ちを忘れず、社会の一員として胸を張って生きていくことを誓います。



石井 磨拓 さん

私たちが成人式という大きな節目を迎えられたのは、愛情をこめて育ててくれた両親、苦楽を共にした仲間達、叱咤激励してくださった先生方、どんな時でも温かい目で見守ってくださった地域の方々のおかげです。本当にありがとうございます。

一昨年から始まった新型コロナウイルスの影響により、思い描いていたような生活を送れなかった方は多いのではないのでしょうか。学生である私は大学に通えなくなりました。遠隔授業を淡々とこなし、友人を作る機会にも恵まれない生活が約2年近く続きました。

しかしそんな状況だからこそ、仲間との絆の深さや何気ない日常がどれだけ幸せなのか改めて感じる事ができました。また、昨今のあふれる情報の中で、自分自身で考え行動する力が問われている一年でしたので、自分自身を見つめる良い機会でもありました。

始まりがあれば終わりが来るように、コロナもやがて終わりがくるでしょう。この苦境を乗り越えた私達はきっと強くなっているはずで、そこから起きるであろう困難も私たちなら乗り越えていけるはずで、まだ成人を迎えただけの未熟な私たちですが、今まで支えてくださった方々に感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できるように努力していこうと思えます。



令和4年 美浦村成人式

希望あふれる「はたち」の門出!

1月9日、中央公民館において、徹底した感染症対策を講じたうえで、令和4年美浦村成人式典が行われ、今年成人を迎えた163名のうち、121名(男性63名、女性58名)が式典に出席しました。

新たな門出を祝福するよう、天候にも恵まれ、会場には希望に満ちた爽やかな笑顔が溢れていました。

式典では中島村長が「視野を広く持ち、より一層教養と英知を磨き、社会において貢献されますよう期待しております。失敗を恐れず、今のうちにできるだけの経験をしてください。皆さんの力は社会を変える大きなエネルギーとなります。皆さんの柔軟なアイデアを生み出した郷土の発展に活かしていただくことが村民にとって何よりの喜びであります。」と新成人の皆さんを激励しました。

新成人の皆さんの新たな門出をお祝いするとともに、今後のご活躍を期待しています。

成人者代表謝辞 黒田 堅仁 さん



本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を開催していただき誠にありがとうございます。また、村長や多数のご来賓の方々にご臨席いただきお祝いや激励のお言葉を頂いたこと、新成人を代表して心よりお礼申し上げます。

私たちが無事に成人式を迎えることが出来たのは様々な人の支えがあったからです。毎日家事をしてくれた母、一人暮らしをして改めて母の偉大さを知りました。父は私が正しい道を進めるように指導してくれました。常に私のことを全力で応援してくれた両親がいたから、今もやりたいことを思う存分出来ています。両親には感謝してもしきれません。また、学校の先生や村の職員の皆様をはじめとする多くの地域の方々にお世話になりました。私たちは、進んだ道に夢や目標、責任を持ち、社会に貢献することで、この恩を返してい

きたいと思えます。

さて、コロナウイルスが猛威を振るい、多くの人が不自由な生活を余儀なくされました。様々な情報が錯綜し、何が正解か間違いか誰にも分かりません。私は、一昨年の4月に大学に入学しました。しかし入学式はなく、前期の授業は全てオンラインでした。大学がどんなところなのか、どんな人がいるのか、何も分からず、ただ授業の動画を見ては課題をこなしていました。やる気は日に日に薄れていき、ストレスは溜まる一方でした。そんな中、私の心の支えとなったのは、ここ美浦村で出会った友達でした。これから先大変なこと、苦しいことあると思います。行き詰まったときは、ここ美浦村に帰ってくればよいでしょう。きっとこの故郷とここで出会った友達が変わることなく、温かく受け入れてくれるはずで、私たちは成人し人生の大きな節目を迎えましたが、まだまだ未熟者です。どうかこれからも温かいご指導をいただければ幸いです。

簡単ではございますが以上で新成人代表挨拶とさせていただきます。

実行委員の皆さんお疲れ様でした!

- ・司会進行 橋浦 千智 さん
若林 愛花 さん
- ・ビデオ作成 小林 一誠 さん
- ・開式の辞 林 美桜 さん
- ・ピアノ伴奏 小山 優奈 さん
- ・閉式の辞 吉田 拓真 さん

